

山西小学校便り

山西っ子

《なかよく・かしこく・たくましく》



12日(金)、議会議員さんらが来校され、5年総合の授業を参観されました。

令和3年3月15日(月) no.53 文責：上田

通学路の安全点検のチェックポイント!

先日、小森のコンビニ前交差点の横断歩道がカラー舗装になりました。自転車が走行できる信号ですが、毎朝の登校指導では、歩行者が歩道を歩いている際には自転車を押して渡りよう中学生にも注意喚起しています。

さて、熊本県警から、「通学路の安全点検チェックポイント」という周知文書が届きました。裏面に掲載しますので、是非お読みください。何か困り事がありましたら連絡ください。

学校では多くの6年生が班長を務めてきた登校班を新しく編成しています。登校班長が変わる班も多くあります。集合時間・場所などの子どもへの確認もお願いします。

東日本大震災から10年 思いを新たに

2011年3月11日(金)午後、あの日の記憶は特別なものとして心に刻まれています。あれから10年、私は福島・宮城に何度となく足を運びました。関西の学生らと新潟経由で福島に向かい南相馬市小高でボランティアをしたり、数年後に訪れることになる三春町に移転した富岡町の4小中学校を車中から見たり、..その後の記憶は書き換えられましたが、寄り添うことの大切さを教えてもらったと思っています。

2016年の熊本地震後には、被災した勤務校に宮城南三陸町から派遣された先生と出会い、その後の交流は、熊本・宮城を行き来しつつ今も続いています。今年、5年目を迎える4月14日・16日を前に、災害を子どもたちにどう伝えるのか考えています。



富岡二中は卒業式の日そのまま...荒地となっていました。(2014.9.13)

学校施設の充実に感謝

先日、運動場北側に新しいトイレが完工し、来週から利用できるようになります。また、たんぽぽ1組教室の東側に特別支援学級教室が3月末までに増設されます。

教育環境の整備が村当局の配慮によって進むことをうれしく思います。施設の整備が教育活動の充実に結びつき、子どもたちの学びがより豊かになります。先週12日(金)には、村議会議員さんも授業参観に来校されました。山西小学校に、地域の皆さん同様に、日頃より関心を向けていただいていることに感謝したいと思います。

通学路の安全点検 チェックポイント

お子さんたちの通学路と一緒に歩いてみたことはありますか？一緒に安全点検を行うことで、保護者の方のアドバイスはお子様確実に響きます。各場面でのチェックポイントをまとめていますので交通事故防止に御活用ください。
また、裏面には熊本県警察交通事故発生状況マップのQRコードを添付しますのでご近所での事故発生状況もご確認ください。

1

横断歩道

- 安全な待機場所があるか？
- 交通指導員さんがいるか？
- 植樹などでドライバーから待機児童が見えにくくないか？
- カーブの直近などドライバーから横断歩道が見えにくくないか？



交通指導員さんの指示に従うことや、手を前に出してドライバーに渡る意思を示し、車が止まってから渡ること。渡っているときも左右の安全を確認することなどを教えてあげましょう。



2

歩道・路側帯

- 安全に歩ける十分な幅員があるか？
- 駐車車両や自転車が少なく、車道にはみ出ずに通行できるか？
- 歩道が途中でなくなり、車道を歩く場所がないか？
- コンビニ等店舗の駐車場に面し、出入りする車両が多くないか？

片側にしか歩道・路側帯がない場所では、できる限り歩道・路側帯を歩くこと。友達とふざけて車道に飛び出したりしないことを教えてあげましょう。



3

交差点

- 待機場所は防護柵などの設置があるか？
- 歩行者用信号の秒数は短くないか？
- 家の塀や植樹などにより、子供・ドライバー双方の見通しが悪くないか？

歩行者用信号が「青」であっても、右左折の車がくること。見通しが悪い交差点では、ドライバーからもお子様が見えないため、一度立ち止まって車が来ていないか確認することなどを教えてあげましょう。



4

雨天時

- 大きな水たまりができる場所はないか？
- フタのある側溝の割れや水路への転落のおそれはないか？
- 歩道・路側帯の幅員が狭く、電柱などがあり、傘をさしたまま歩けない場所はないか？

雨天時は傘などにより視界が狭まってしまったり、ドライバーの視界も悪くなることを教えてあげましょう。



5

その他

また、万が一交通事故に遭ってしまった場合は、110番通報、学校、保護者に連絡することを教えてあげましょう。
※交通事故発生マップはこちらから→



お子様と一緒に通学路を歩いて、保護者の目で危険がないかを確認し、アドバイスしてあげましょう。子供にとって危険な場所はドライバーにとっても注意しなければならない場所です。大切な小さな命を守るためにもハンドルを握るときは安全運転に努めましょう。

